

6. 本市の特性と展望 (1/2)

地域資源や都市としての優位性を生かしたまちづくりを進めるため、本市の特性や強み、特に重要となる環境変化を示す。

首都近郊都市

- 東京から50km圏内に位置し、小田急小田原線で、伊勢原駅から新宿駅までを約60分、小田原駅までを約35分で結ぶ、鉄道交通の利便性が高い首都近郊に位置する。
- 市内には東名高速道路、新東名高速道路、小田原厚木道路、国道246号が走り、首都圏域における優れたアクセス性を有し、箱根や伊豆等の観光地への利便性も高い場所に位置する。



提供 小田急電鉄



雄大な自然と温暖な気候

- 総面積55.56km²のうち、山林原野が約3分の1を占め、北西部の丹沢大山国定公園内には、本市のシンボルである標高1251.7mの大山がそびえる。
- 市域の約2割を占める農地が伊勢原らしい牧歌的な景観を形成し、市民に潤いや安らぎを提供している。
- 年間平均気温16.7℃、年間降水量は1,237mm(R2(2020)年)と、暮らしやすい温暖な気候である。

日本遺産を始めとする歴史・伝統文化

- 市域には旧石器・縄文の時代から人が住み続け、これまでの営みや信仰の歴史などが、多くの文化財として継承されている。
- 信仰の地である大山は、江戸の時代に「大山詣り」として多くの人が訪れ、伊勢原は参拝者を受け入れる門前町として賑わい、発展してきた。それらの遺構や伝統文化が、大山や日向、三ノ宮地区を中心に現代に引き継がれ、まちの魅力となっている。

6. 本市の特性と展望 (2/2)

充実した医療環境

- 本市には、医科・歯科診療所を始めとする一次救急から、入院を要する救急医療を担う二次救急、救命救急や高度先進医療が整った大学病院の三次救急まで、恵まれた医療機関を有し、市民の心身の健康を支えている。
- 人口1万人当たりの医師数、看護師・准看護師数は、県内市町村で常に上位を推移している。

バランスのとれた多彩な産業

- 丘陵部から平地部に広がる農地では、田・畑や果樹、畜産、花木等、多彩な農業活動が営まれ、伊勢原ブランドとして親しまれている。
- 都市部では、3つの工業団地を中心に多様な産業が集積し、まちの活力となっている。
- 大山や日向地区には、緑豊かな自然と歴史・伝統文化を求め、多くの観光客が訪れ、賑わいをもたらしている。

広域幹線道路の開通効果

- 新東名高速道路伊勢原大山インターチェンジの開設や圏央道の開通により、首都圏への交通アクセスは飛躍的に向上している。
- 今後予定される新東名高速道路の全線開通により、広域的な交通環境の優位性が更に高まり、市外からの観光客の増加や各産業の活性化が期待されている。
- 伊勢原大山インターチェンジ周辺地区では、新たな産業基盤の整備が進められ、産業振興や雇用創出等、企業立地によるまちの活力創出が期待されている。



提供 NEXCO中日本